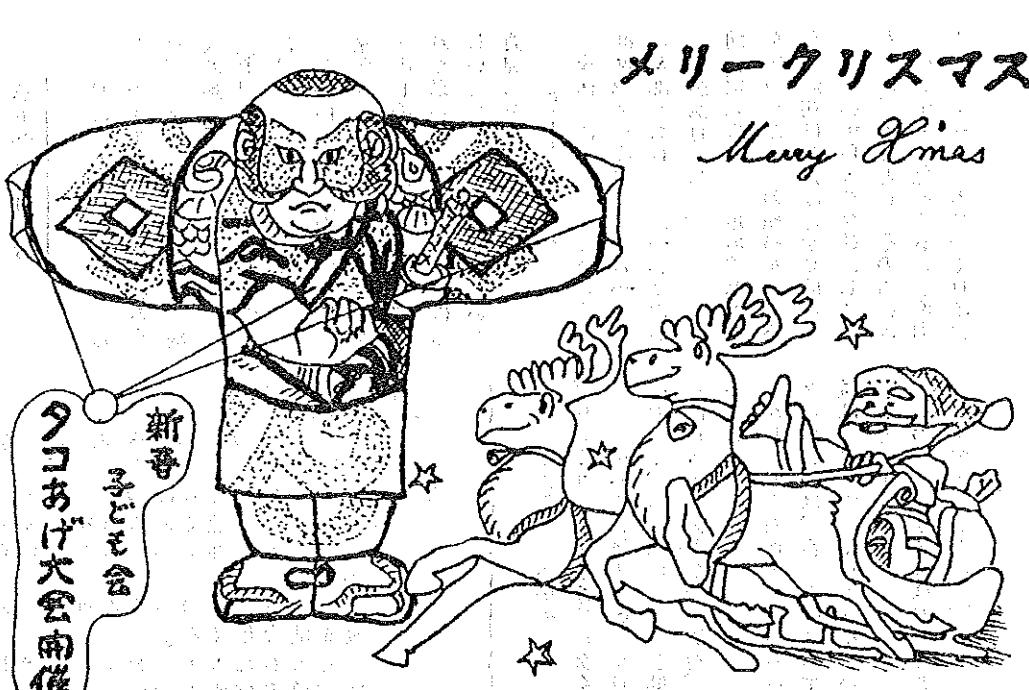


編集 周陽地区コミュニティ推進協議会広報部 電話28-6515 公民館

明るい  
あいさつ新喜  
子ども会  
タコあげ大会開催たのしい  
冬やすみ

人口既況 54年11月30日				
	世帯数	男性	女性	総計
周陽1丁目	554	929	868	1797
2丁目	513	765	779	1544
3丁目	81	120	114	234
瀬戸見町	861	1334	1432	2766
孝田町	343	322	361	683
大内町	486	686	508	1194
上・下馬屋	28	56	50	106
町名	世帯数	男性	女性	総計

もういくつねるとお正月  
子ども達の待ちに待つた冬休み  
が近づきました。  
たくましい子ども達を育てよう、想い出をつくつてやろうと  
う、想い出をつくつてやろうと  
子ども会タコあげ大会・ボーリング大会クリスマス会・武道少年団モチつき大会・各単位自治会子ども会などいろいろな行事が計画されています。

第三回周陽地区親睦卓球大会が十二月九日周陽中学校体育館で開催されました。今大会には桜木地区からもチーム特別参加、さらに周陽地区体育振興会役員チームも結成され九チームで三プロックに分かれリーグ戦で熱戦がくりひろげられました。

前回優勝の日本化学A・帝人A・混合チームの三チームが決勝リーグに勝ち残り選手はもちろん、応援団も一しょになつての大接戦の末、帝人Aチームが栄冠を勝ちとり優勝、二位日本化学A・三位混合チームの結果で大会が終えられた。

：勝利の一聲：

昨年の雪辱を晴らせて気分が最高にいいです。来年もねらいますよ。（帝人キャブテン）



大人Aチーム 優勝!!

地の中心部にあり、周辺には学校・病院・公園など施設が整つており、又、住宅地域内にはスナックバー・商店街が同居しております。この公団住宅に自治会が発足いたしました。

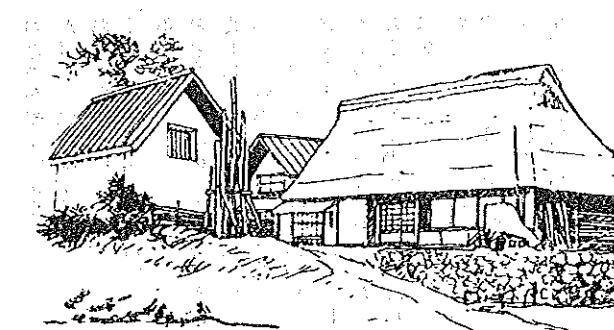
年で四年目を向えていました。

自治会活動においては、世帯数百五十と大世帯である上県外からの転入者が多い、居住期間も短かい、転出が激しい、といった特殊事情も加わり、運営もむつかしく、盛り上がりは今まで一つといつたところです。

しかし、コミュニティ推進地区指定、婦人集会への参加等をきっかけに、さらに前向きに活動に取り組んでは、との婦人方の積極的な意見も提供され、お

公団住宅自治会長 玉井昌典

編集後記



広報部は、「今年の行事」のしめくくりとして、第三号を発行しました。

来年は、よりいつそう皆様の声を、じかに広報部までお寄せ下さい。（自己満足に進歩はありません）

チヨツトはやいですが  
よいお年をおびかえ下さい。  
「広報部一同」

これからも自治会運営のむつかしさに変わりはないと思いまが、出来るものから手をつけます。ですが、出来るものから手をつけます。これが目標に向いたいと思います。

新年号よりこのコミュニティだよりも第三号を発行することになりました。ユーニティだよりに名称をつけてやりたいと思っています。今回も名称を募集いたします。公民館まで連絡下さい。採用分には記念品を用意いたしております。

周陽地区コミュニティだよりは、新号より第三号を発行することになりました。ユーニティだよりに名称をつけてやりたいと思います。今回も名称を募集いたします。公民館まで連絡下さい。採用分には記念品を用意いたしております。

## 竹をありがとう

結果は次の通りです。

第五回周陽地区親睦バトミントン大会は、十一月二十三日周

陽小体育館において六チーム約六十名の選手が参加して盛大に

行されました。試合はリーグ戦で行われ、手

に汗を搾る好試合ばかりが続き

予定の時間を二時間もオーバーしてしまいました。

結果は次の通りです。

優勝・馬尾山本嘉之さん

二位・県住・コイボ

三位・日本化学

山本さんは、光畠宏泰さん

に住んでおられます。

今年の七夕のササカついだ大

人気がありま

す。

山本さんは、光畠宏泰さん

住まいの密着したところから、

少し離れた静かな山すそに移

りました。

山本さんは、光畠宏泰さん

に住んでおられます。

## 初心者も気軽に

### バトミントン

かわ、バトミントン部は毎週火・木・土曜の午後七時半から周陽小体育館で練習をしていま

すので、初心者の人も気軽に参

加して下さい。用具は準備して

おります。

また、来年一月には、遠石・

周陽・秋月・桜木の四地区大会

も予定されていますのでこちら

も奮つて参加して下さい。

——ぼくのおとうちゃん——

きな「もうそう竹」、運動会に

子供達が棒体操に使つた向日本

の竹、みこし祭りのみこしを乗

せる竹等、快く寄付して下さい

ました。みこし祭りに使用した

竹は、夜市才京の方まで竹を切

り出しに行かれました。

山本さんは「夏分も小さいこ

ろワルがすぎだつた。そして今

鳥分の子どもも同じように地区

の子どもや大人の手で育つてい

る。夏分に虫食ることとは、これ

からも努力させていただきたい

と言つておられます。

すばらしい仕事力と情熱と出本

さんからも打たれました。

## 第1回婦人集会開催

# 80名参加!

昭和54年12月1日(土)



婦人のコミュニティの集い  
意欲的にとりくむ

一日は、あいにく寒い日でした。省エネときめいている今、ストーブなしの会場は、婦人の熱氣でいっぱいでした。下記のように、グループ発表を、大まかにまとめました。

この他にも周陽地区に転勤で来られた方より、この地域の人々の心のあたたかさ、又整備された環境、そしてもつとすばらしい施設を生かすべきだという意見がありました。

全体会においてコミュニティ推進協議会役員の「これから婦人部のあり方」についてのお話がありました。

河村婦人部長、「地域の特殊性を生かした婦人の組織をつくりう。最初は井戸ばた会議的な小さな集いから大きな輪にしていきたい。役員としてその為には今後ますます発展するよう努力する。すみよい地域づくりは婦

人の力によるところが多い。」全体会において、野村コミュニティ推進協議会会長、「住みよい周陽地域づくりについて、行政にたてるべき問題は行政と一体となつて実行、解決したい。しかし、私たちが考えなければなりませんのは、自分達の住む地域は自分達でつくり上げるといふことです。その意味で住民皆様の協力と理解をお願いしたい。」

黒坂周陽公民館長、「住民の意見の結果の場として公民館を大いに利用して下さい。

子ども育成においては、自分の子どもと同様に他人の子どもも悪いことはしかり、善いことはしつかりほめることの出来る環境づくりをしよう。」

以上のようないい見通しの

もと、住民一人一人の意識向上をめざして、実りある半日が終つた。

1. 婦人の組織づくりについて、つくりそしてか。スボーツ等の行事を通じて婦人活動を活性化する。今後も婦人集会を開いてほしい。
2. 生活環境の整備について、道路のミヅにフタのないところがある。いな南を子どもたちほしい。散歩する。地元の公諸悪を自動車放しがいは他人の迷惑に周もとのどもやしいもの。おいて、子どものどももいざつて大人が不愛想である。
3. —

こつれて泣くより  
ガチ! 戸締り

周南団地  
警察官派出所

家庭に備えよう

初期消火用具

昭和五十三年中に全国で約二万件の火災が発生しておりますがこれは約七分毎に火災が発生している計算になります。

徳山市でも七十七件の火災が発生しており、このうち建物火災が四十三件です。

各家庭には消防器を備えるか又は、浴槽に水を入れておき、常にバケツを備える、等心がけておきましょう。

徳山東消防署